平成３０年５月１６日

内閣府（防災担当）

米国海軍病院船マーシーの寄港に伴う
一般見学会、シンポジウムの参加者募集について

災害救援や人道支援を行っている米国海軍病院船マーシーが、平成３０年６月に東京港へ寄港することから、内閣府（防災担当）において、米国海軍による「マーシー」の一般見学会のほか、日米共同災害医療搬送訓練、災害医療・防災関係者等を対象としたセミナー、シンポジウム等を企画しております。

このたび一般見学会の参加希望者及び「米国海軍病院船マーシー東京寄港記念シンポジウム～我が国の大規模災害時における災害医療への示唆を得る～」の傍聴希望者の募集を開始しますのでお知らせします。

≪一般見学会・シンポジウムの概要≫

一般見学会

■日　　時　：　平成３０年６月１６日（土）午後
■場　　所　：　東京港大井水産物埠頭（東京都大田区東海５丁目３番５号）
■参 加 費　：　無料
■定　　員　：　４００人（定員を超えた場合は抽選いたします。）
■対　　象　：　階段の歩行に支障のない方
■見学方法　：　指定の時間に集合場所（ＪＲ品川駅を予定）にお集まりいただき、約１時間のツアー形式で船内を見学いただきます。（集合から解散までの所要：約３時間）
■注意事項　：　警備の関係上、東京港大井水産物埠頭には、一般見学会の参加者以外入場できません。
■申込方法　：　特設ホームページ
（http://www.bousai.go.jp/jishin/sonota/tamokutekisen/mercy.html）
から申し込みください。別紙１参照。お電話等ではお申込みできません。

シンポジウム

「米国海軍病院船マーシー東京寄港記念シンポジウム
～我が国の大規模災害時における災害医療への示唆を得る～」

■日　　時　：　平成３０年６月１９日（火）１３：３０～１７：５０
■場　　所　：　ヒルトン東京　４階　菊の間（東京都新宿区西新宿６丁目６番２号）
■参 加 費　：　無料
■定　　員　：　１００人（受付は先着順といたします。）
■内　　容　：　①米国海軍医療関係者による基調講演、プレゼンテーション
②日本の災害医療関係者等と米軍関係者によるディスカッション
■申込方法　：　特設ホームページ
（http://www.bousai.go.jp/jishin/sonota/tamokutekisen/mercy.html）
から申し込みください。別紙２参照。お電話等ではお申込みできません。

≪マーシーの概要≫

■所　　属　　米国海軍　軍事海上輸送司令部

■艦　　歴　　１９７６年に就航した石油タンカーを改造。１９８６年海軍所属

■性能諸元

全長 ： ２７２．６ｍ　　マスト高 ： ４０．５ｍ

全幅 ： ３２．２ｍ　　喫水 ： １０．３７ｍ

排水トン数 ： ６９，３６０トン　　速度 ： １２ノット（巡航速度）

■写　　真

病院船マーシー外観

手術室

ＩＣＵ

病室

※実際の見学ルートは異なる可能性があります。

取材については後日お知らせします。

＜本件問合せ先＞
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（災害緊急事態対処担当）付
三瀬、伊藤
TEL：03-3501-5695（直通）
FAX：03-3503-5690

（別紙１）

米国海軍病院船マーシーの寄港に伴う一般見学会参加者募集要項

災害救援や人道支援を行っている米国海軍病院船マーシーが東京港へ寄港することから、内閣府（防災担当）において、米国海軍によるマーシーの一般見学会の参加者を以下のとおり募集いたします。

【一般見学会】

日　　時　平成 30 年 6 月 16 日（土）13 時 30 分～16 時 00 分（予定）
※上記時間のうち、1 時間程度徒歩で見学を実施します。
見学時間帯の指定はできません。あらかじめご了承ください。

場　　所　東京港大井水産物埠頭（東京都大田区東海５丁目３番５号）

募集人数　400 名程度　※申込多数の場合は抽選となります。

対　　象　階段の歩行に支障のない方

募集期間　平成 30 年 5 月 16 日（水）～5 月 27 日（日）

見学内容　甲板デッキ、船内医療施設など
※実際の見学ルートは異なる可能性があります。

注意事項　警備の関係上、東京港大井水産物埠頭には、一般見学会の参加者以外入場できません。

【参加料】

無　料（ただし、交通費は自己負担となります。）

【申込方法】

・全ての参加者に対して、事前の申し込みが必要です。
・内閣府公式ホームページ上の内閣府共通意見等登録システム（Nopi）にて、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。電話や FAX、メールなどでの応募は受け付けておりませんので、ご了承下さい。
https://form.cao.go.jp/bousai/opinion-0038.html

【申込留意事項】

・申し込みは、１グループにつき５名まで、１回限りとさせていただきます。
・参加希望者全員の必要事項が記入されていない場合は無効となります。記入漏れのないようにお願いします。
・申込多数の場合は抽選となります。
・申込後、参加者の変更はできません。
・6 月 4 日（月）を目途に当選者のみへ Email にてご案内をお送りいたします。落選者へのご連絡はございませんので、あらかじめご了承ください。
・船内には急な階段、足元の悪い場所があるため、参加者は階段の歩行に支障のない方を対象とします。

・階段の通行に支障がありますので、ベビーカー等での見学はご遠慮ください。
・船内に授乳やおむつ交換をする場所はありません。
・セキュリティの関係上、当日は、手荷物検査、本人確認をします。必ず見学者全員分の身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード、パスポートのいずれか）をご持参ください。身分証のない方は入場できません。
・中学生、高校生で上記身分証明書を所持していない場合は、学生証も身分証明書として認められます。
・小学生以下は保護者の同伴が必要です。
・小学生は身分証明書の提示を求められることはありません。
・船内には階段や障害物も多いですので、見学はヒールのない靴やパンツなど動きやすい服装でお越しください。
・船内には、大きな荷物は持ち込めません。クローク設備もありません。
・天候・保安・その他やむを得ない事由により、見学会を中止させていただく場合がありますので、予めご了承ください。中止の場合は、Email でお知らせするとともに、内閣府ホームページに掲載いたします。
・会場へは、参加者に別途ご案内する集合場所からシャトルバスに乗車のうえ、ご来場ください。会場へ直接、徒歩、お車等でお越しいただくことはできません。
・集合場所への指定時間に遅れると見学できません。時間には余裕を持ってお越しください。
・ツアーの集合から解散まで 3 時間程度を予定しております。ツアーを途中で離脱することはできません。
・見学中の飲食・喫煙はできません。飲酒されての見学はお断りします。
・ペットの持ち込みはできません。
・船内では一部撮影不可のエリアがあります。係員の指示に従ってください。
・上記以外にも、係員の指示に従わなかった場合、主催者側が危険と判断した場合には、見学及び乗船できない場合があります。
・当日は主催者やメディアによる撮影・取材があります。撮影させていただいた写真・映像等は使用媒体に関わりなく無承諾かつ無償で使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
・募集に伴い取得した個人情報は「個人情報保護法」に基づき、適正な管理を行うとともに、イベントの実施・運営目的以外に利用することはありません。個人情報は、一般見学会の参加者連絡・運営を目的として、米国海軍、イベント運営業務委託先およびイベント運営手続きに関わる関係機関に提供いたします。あらかじめご了承ください。

【その他】
・見学会中止などによって生じた損害については、その責を負いません。
・その他、不明な点については、下記にお問い合わせください。

■お問合せ先

内閣府（防災担当）災害緊急事態対処担当
一般見学会・シンポジウム参加者募集窓口
TEL：03-5253-2111（代表）（内線:51268・51269）
FAX：03-3503-5690
受付時間：平日 9:30～18:15（土日除く）

（別紙２）

米国海軍病院船マーシーの寄港に伴うシンポジウム参加者募集要項

災害救援や人道支援を行っている米国海軍病院船マーシーが東京港へ寄港することにあわせ、内閣府（防災担当）において、シンポジウムを開催します。

つきましては、シンポジウムの参加者を広く募集いたします。

【シンポジウム】

日　　時　平成 30 年 6 月 19 日（火）13 時 30 分～17 時 50 分（予定）

場　　所　ヒルトン東京　4 階　菊の間（東京都新宿区西新宿 6 丁目 6 番 2 号）

募集人数　100 名程度　※受付は先着順といたします。

募集期間　平成 30 年 5 月 16 日（水）～6 月 12 日（火）

※定員に達した時点で締め切ります。

ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　第１部　基調講演「米国の災害医療」

米国海軍第７艦隊医務長　メラニー・メリック大佐

プレゼンテーション「米国海軍病院船マーシーの医療機能」

米国海軍病院船マーシー病院長　ジョン・ロトラック大佐

第２部　ディスカッション　「日本における病院船活用への課題等について」

コーディネーター　中川 和之氏

シンポジスト　山口 芳裕氏、小井土 雄一氏、砂田 向壱氏

メラニー･メリック大佐､デビッド･ブレッツ大佐、

ジョン・ロトラック大佐

※プログラムは都合により変更になる場合がございます。

シンポジスト紹介

山口 芳裕（やまぐち よしひろ）

杏林大学教授、東京 DMAT 運営協議会会長

杏林大学医学部付属病院 高度救命救急センター長。香川医科大学卒。米国ハーバード大学 MGH （外科）へ留学。日本救急医学会・理事。東京都災害医療コーディネーターを務める。平成 11 年に東海村臨界事故では被ばく患者の治療を担当。平成 23 年には東京消防庁・総務省消防庁の医療アドバイザーとして福島第一原発 3 号機への注水作業に帯同するなど多くの災害医療対応の経験をもつ。

小井土 雄一（こいど ゆういち）

厚生労働省 DMAT 事務局長、日本集団災害医学会代表理事

独立行政法人国立病院機構災害医療センター 臨床研究部長。東京医科歯科大学医学部 臨床教授。埼玉医科大学卒。オーストラリアのプリンセス・アレキサンドラ病院に留学。1999 年には台湾の集集大地震における国際緊急援助隊医療チームに団長として派遣される。そのほか 2005 年のスリランカ スマトラ沖地震津波災害や 2010 年パキスタン洪水災害など、海外に派遣された実績を多くもつ。そのほか、JICA 国際緊急援助隊支援委員長や NPO 法人災害人道医療支援会理事を務める。

砂田 向壱（すなだ こういち）

公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル理事長

博士（人間環境学）。九州大学大学院人間環境学研究科空間システム専攻後期博士課程修了。九州大学大学院芸術工学研究院特任教授、文部科学省産学官連携広域コーディネーター等を歴任した。そのほか、警察庁長官賞警察協力章受章（2016 年）など社会活動表彰歴も多数ある。2014 年 3 月に「海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟」の創設に関わり特別顧問に就任。これまでも病院船の必要性について講演活動を行っている。

メラニー・メリック大佐（Captain Melanie Merrick）

米国海軍第７艦隊医務長

フロリダ州ウィンターヘブン生まれ。1989 年に米国海軍に任官し、1993 年にマイアミ大学で医学博士号を取得。潜水艦母艦フランク・ケーブルの潜水医官としての任期中、水上戦医務科士官資格を取得し、赤道越えの証であるゴールデン・シェルバックを取得。1997 年には、家族医専門医資格を取得。2010 年、ハイチ地震の救援活動に従事。メリック大佐の受章した個人章及び従軍章には、功績章（2 回）、海軍・海兵隊功績章（3 回）、海軍・海兵隊業績章（2 回）、戦闘優秀部隊表彰（2 回）、イラク従軍章、人道支援任務従事章などが含まれる。

デビッド・ブレッツ大佐（Captain David Bretz）

米国海軍病院船マーシー ミッションコマンダー

イリノイ州ヴィラグローブ生まれ。1993 年に米国海軍兵学校を卒業し、海洋工学の学士号を取得した後、モントレー海軍大学で機械工学の、修士号をそれぞれ取得。その他、米国海軍大学にて国家安全保障・戦略研究の修士号を取得。ブレッツ大佐がこれまでに受章した個人章や従軍章には、国防功績章、功績章（3 回）、統合軍功績章、海軍・海兵隊功績章（2 回）、海軍・海兵隊業績章（3 回）などが含まれる。

ジョン・ロトラック大佐（Captain John Rotruck）

米国海軍病院船マーシー病院長

フロリダ州マイアミ大学で生物学士、医学の学位を取得後、1996 年に米国海軍医療隊大尉に任命される。米国海軍入隊後、メリーランド州ベセスダの国立海軍病院内科部門においてインターン期間を終え、沖縄で第３海兵役務支援群の一般医務官として海外勤務に就く。アフガニスタンにおける「不朽の自由作戦」の支援配備後は、ウォルター・リード米軍医療センターの医療スタッフ長に専任。その後、同センター所長特別補佐官、副所長補を経て、副所長としての役割を担った。現在、米国軍保健衛生大学の麻酔科非常勤准教授も務める。

コーディネーター紹介

中川 和之（なかがわ かずゆき）

時事通信社解説委員

元防災リスクマネジメントＷｅｂ編集長、前山形支局長。静岡大学防災総合センター客員教授。地震学会で地震火山こどもサマースクールを実践する経験も生かし、日本ジオパーク委員会調査運営部会員（地震学会推薦）としてジオパークの認定審査に従事。専門は災害情報、災害救援、防災教育、防災ボランティア。日本地震学会理事、日本災害情報学会広報委員会副委員長、文部科学省研究開発法人審議会委員などを務めるほか、元中央防災会議専門委員や厚生労働省大規模災害救助研究会専門分科会委員など各種委員を歴任した。

【参加料】

無　料（ただし、交通費は自己負担となります。）

【申込方法】

・全ての参加者に対して、事前の申し込みが必要です。
・内閣府公式ホームページ上の内閣府共通意見等登録システム（Nopi）にて、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。電話や FAX、メールなどでの応募は受け付けておりませんので、ご了承下さい。
https://form.cao.go.jp/bousai/opinion-0038.html

【申込留意事項】

・申し込みは、１名ずつ行ってください。
・受付は先着順といたします。
・受付が完了した方より随時 Email にてご案内をお送りいたします。
・保安・その他やむを得ない事由により、シンポジウムを中止させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。中止の場合は、Email でお知らせするとともに、内閣府ホームページに掲載いたします。
・会場までは、公共交通機関を利用し、直接お越しください。
・会場内は飲食禁止とします。
・喫煙は指定された場所でお願いします。
・係員の指示に従わなかった場合、主催者側が危険と判断した場合には、退席いただく場合があります。
・当日は主催者やメディアによる撮影があります。撮影させていただいた写真・映像等は使用媒体に関わりなく無承諾かつ無償で使用させていただくことがありますので、あらかじめ了承ください。また、シンポジウムの様子はインターネットで中継いたしますのであらかじめご了承ください。
・募集に伴い取得した個人情報は「個人情報保護法」に基づき、適正な管理を行うとともに、イベントの実施・運営目的以外に利用することはありません。個人情報は、一般見学会の参加者連絡・運営を目的として、米国海軍、イベント運営業務委託先およびイベント運営手続きに関わる関係機関に提供いたします。あらかじめご了承ください。

【その他】

・シンポジウム中止などによって生じた損害については、その責を負いません。
・その他、不明な点については、下記にお問い合わせください。

■お問合せ先

内閣府（防災担当）災害緊急事態対処担当
一般見学会・シンポジウム参加者募集窓口
TEL：03-5253-2111（代表）（内線:51268・51269）
FAX：03-3503-5690
受付時間：平日 9:30～18:15（土日除く）